

昭和38年度普通会計予算

総額 1億2,089万4,000円

別表(一) 予算総括表

<歳入>

款	本年度予算額	前年度予算額	増・減(△)	総額%
1 市町村 税	29,255,950	21,936,650	7,319,300	24.2
2 地方交付金	59,180,000	46,170,000	13,010,000	48.9
3 財産収入	303,090	109,974	193,116	0.2
4 分担金及手数料	1,776,690	1,711,600	65,090	1.5
5 国庫支出金	3,425,000	2,632,600	792,400	2.8
6 国庫支	2,709,790	2,803,980	△ 94,190	2.2
7 県支	2,638,500	1,066,300	1,572,200	2.3
8 寄附金	2,473,910	5,990,080	△ 3,516,170	2.1
9 繰入金	14,947,600	0	14,947,600	12.4
10 繰越金	2,339,860	7,640,900	△ 5,301,040	1.9
11 雑収入	1,843,610	1,844,175	△ 565	1.5
歳入合計	120,894,000	91,906,259	28,987,741	100

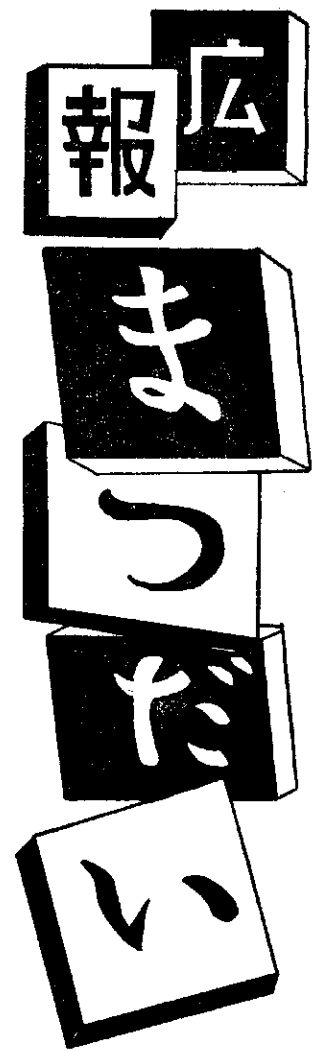
<歳出>

款	本年度予算額	前年度予算額	増・減(△)	総額%
1 議会費	2,885,500	1,873,290	412,210	1.9
2 会費	22,700,290	18,798,462	3,901,828	18.8
3 消防費	3,309,100	3,537,139	△ 228,039	2.7
4 土木費	10,729,000	8,991,915	1,737,085	8.9
5 教育費	25,400,000	29,967,000	△ 4,567,000	21.0
6 社会福祉施設費	5,501,170	5,672,141	△ 170,971	4.6
7 保健衛生費	1,500,000	1,407,450	92,550	1.2
8 産業経産費	13,891,950	7,788,885	5,603,065	11.1
9 財政調査費	723,950	1,358,926	△ 634,976	0.6
10 統計	311,100	306,800	4,300	0.3
11 選挙費	1,203,600	469,240	734,360	1.0
12 公債費	3,780,060	4,037,722	△ 257,662	3.1
13 諸支出	29,658,280	7,547,239	22,111,041	21.5
14 予備費	300,000	150,000	150,000	0.3
歳出合計	120,894,000	91,906,259	28,987,741	100

(1)

高校生急増対策費二、六三〇万円など
二、八九八万円(三一・五%)の増額

△ 昭和三十八年度の予算が議決されました。普通予算は総額一億二、〇八九万四、〇〇〇円で概
△ 要は総括表のとおりです。
△ 増額二、八九八万七、七四一円は、高校生急増対策費が主であり、前年度と比較して三一・
△ 五%の増額です。財源は固定資産税が百分の〇・二増徴され百分の二で賦課されるほか、
△ 町税の自然増、地方交付税の増、財政調整積立金等が充てられます。
△ なお、国保事業特別会計、国保診療施設会計、簡易水道会計は概要のとおりであります。
▽▽▽▽▽



昭和38年4月10日発行
第99号
東頸城郡松代町公民館
館長 富沢清次
電話 松代1番
印刷 松代印刷所

昭和38年度松代町歳入歳出予算概要

(△印は減額)

<p>⑧ 寄附金 247万3,910円 前年度対比 △351万6,170円</p>	<p>主要増減額 (1)山平中学校技術家庭科教室増築費寄附金 △54万9,000円 (2)福島林道開発費寄附金 94万6,000円 (3)松代中寄宿舎改築費、水道施設費寄附金等 △501万5,170円</p>	<p>◆ 普通会計総額 1億2,089万4,000円 (131.5%) 前年度対比 2,898万7,741円</p> <p>＝ 歳 入 ＝</p>	
<p>⑨ 繰入金 1,494万7,600円 前年度対比 1,494万7,000円</p>	<p>主要増加額 (1)財政調整積立金 1,400万円 (2)ブルトーザー原価消却積立金 94万7,600円</p>	<p>① 市町村税 2,925万5,950円 前年度対比 731万9,300円</p>	<p>主要増加額 (1)市町村民税自然増収額310万9,600円 (2)固定資産税増徴額(1.6～2.0)300万1,900円 (3)煙草消費税自然増収額 90万2,000円 (4)その他、町税自然増収額 39万5,800円</p>
<p>⑩ 繰越金 233万9,860円 前年度対比 △503万1,040円</p>	<p>(1)松代中学校寄宿舎改築費繰越金 △300万円 (2)水道会計繰出金 △160万8,830円 (3)その他一般財源増額分 69万2,210円</p>	<p>② 地方交付税 5,918万円 前年度対比 1,301万円</p>	<p>主要増加額 (1)昭和37年度第1次決定増加額1,051万円 (2)給与改定に伴う増加額250万円</p>
<p>⑪ 雑収入 184万3,610円 前年度対比 565円</p>	<p>(1)森林公団支出金 36万3,545円 (2)国民年金印紙売捌代金 △40万円</p>	<p>③ 公営企業及財産収入 30万3,090円 前年度対比 19万3,116円</p>	<p>主要増加額 (1)財政調整積立金利子収入等 19万3,116円</p>
<p>歳入合計 1億2,089万4,000円 前年度対比 2,898万7,741円</p>			
<p>＝ 歳 出 ＝</p>		<p>④ 分担金及負担金 177万6,690円 前年度対比 6万5,090円</p>	<p>主要増加額 (1)土木事業費地元負担金等 6万5,090円</p>
<p>① 議会費 2,285万5,000円 前年度対比 41万2,210円</p>	<p>主要経費 (1)報酬並諸手当所要額128万円 (2)需用費所要額12万5,100円 (3)その他所要額88万400円 主要増減額 (1)議員報酬改定増加額22万6,900円 (2)旅費額改定増加額 12万7,000円</p>	<p>⑤ 使用料及手数料 342万5,000円 前年度対比 79万2,400円</p>	<p>主要増加額 (1)ブルトーザー使用料増収額 70万円 (2)その他使用料手数料増収額 9万2,400円</p>
<p>② 役場費 2,270万290円 前年度対比 390万1,828円</p>	<p>主要経費 (1)職員給並諸手当所要額1,513万8,040円 (2)需用費所要額 259万1,060円 (3)その他所要額 497万1,190円 主要増減額 (1)職員給与改定増加額275万5,295円 (2)旅費額改定増加額24万1,200円 (3)交際費増加額24万円 (4)事務改善所要額13万5,000円 (5)物価値上りによる需用費増加額 62万2,510円 (6)臨時雇員2名分増加額19万8,000円 (7)共済組合負担金減少額△35万5,930円 (8)退職手当組合負担金増加額 30万1,710円</p>	<p>⑥ 国庫支出金 270万9,790円 前年度対比 9万4,190円</p>	<p>主要増加額 (1)教材費並国民年金等増加額 △9万4,190円</p>
		<p>⑦ 県支出金 263万8,500円 前年度対比 157万2,200円</p>	<p>主要増減額 (1)福島林道開発費補助150万円 (2)県会議員選挙委託金21万円 (3)貸付和牛購入費補助20万円 (4)季節保育所設置補助5万4,000円 (5)参議院議員選挙費補助△35万円 (6)その他補助金増加額4万2,000円</p>

<p>⑦保健衛生費 150万円 前年度対比 9万2,550円</p>	<p>主要経費 (1)伝染病予防費 55万7,000円 (2)結核予防費 36万1,000円 (3)環境衛生費 44万5,000円 (4)予防衛生費13万7,000円 主要新規経費 (1)シ尿処理費 11万6,000円 (2)危険物処理費 4万4,000円</p>	<p>⑧消防費 330万9,100円 前年度対比 △28万8,089円</p>	<p>主要経費 (1)団員報酬費52万7,100円 (2)小型ポンプ購入費80万円(小貫30万円 片桐山35万円 東山15万円) (3)学校防火水そう2ヶ所新設費65万円(清水中小45万円 その他20万円) (4)消防道路新設費10万円(伊沢小その他) (5)災害住宅見舞金80万円 (6)その他所要額73万2,000円</p>
<p>⑧産業経済費 1,339万1,950円 前年度対比 560万3,065円</p>	<p>主要経費 (1)農業委員会費173万6,790円 (2)農業改良費129万7,480円 (3)蚕業指導費17万9,400円 (4)畜産振興費195万7,200円 (5)林業振興費427万7,210円 (6)商工振興費17万8,000円 (7)農業構造改善費376万5,870円 主要新規経費 (1)葉煙草奨励費 8万円 (2)水分検定器購入費補助(1台2,000円補助)4万円 (3)防除機械購入費(20台×2,800円)56万円 (4)稚蚕共同飼育費補助12万円 (5)階段桑園試験地補助(事業費の1/3補助)1万500円 (6)屋外桑育ハウス助成(事業費の10分ノ3補助)1万800円 (7)優良種保留費(10頭分)60万円 (8)和牛種付補助(750頭×800円)22万5,000円 (9)笹ヶ峰牧場事業費(牝16頭輸送費)2万円 (10)簡易放牧施設補助 2万円 (11)公団造林海老地区事業(完了4町1,600本 新規3町1,200本)30万5,760円 (12)公団造林福島地区事業(完了9町36,000本 新規4町16,000本)43万5,968円 (13)福島林道事業(地元負担金9万5,000円 県補助150万円)300万円 (14)商工会補助15万円 (15)ブルトーカー オーバーホール150万円</p>	<p>⑨土木費 1,072万9,000円 前年度対比 173万7,085円</p>	<p>主要経費 (1)敷砂利194坪購入費158万8,780円 (2)道路新設改良費245万2,630円 (3)橋梁新設改良費136万3,000円 (4)国、県並工事負担金 230万円 (5)災害土木費98万9,950円 (6)除雪対策費 60万円 (7)その他所要額148万4,640円</p>
<p>⑨財産費 72万3,950円 前年度対比 63万4,976円</p>	<p>主要経費 (1)財産(共済保険料等)管理費61万3,000円 主要増減額 (1)旧役場宅地買収費△25万円 (2)歯科機械買収費 △35万円 (3)町有建物水道施設費 △9万7,000円 (4)公営住宅土地買収費 5万円</p>	<p>⑩教育費 2,540万円 前年度対比 △456万7,000円</p>	<p>昭和36年繰越事業松代中寄宿舎改築費 △566万円 主要経費 (1)教育委員会費443万9,236円 (2)公民館費107万5,541円 (3)青年学級費35万円 (4)小学校費1,123万2,970円 (5)中学校費774万7,283円 (6)その他 55万4,970円 主要増減額並特別経費 (1)職員給与改定並定期昇給増加額 92万8,052円 (2)小中学校一般需用費増加額100万131円(総額868万4,998円) (3)小中学校特別需用費増加額49万5,618円(総額134万9,189円) (4)特別事業費238万円(山平中学校技術家庭科教室増築費188万円 奴奈川中学校給食施設費35万円技術教育備品費20万円) (5)土地買収費15万円</p>
<p>⑩統計調査費 31万1,100円 前年度対比 4,300円</p>		<p>⑪社会及労働施設費 560万1,170円 前年度対比 △7万971円</p>	<p>主要経費 (1)社会福祉費59万4,240円 (2)児童福祉費60万9,550円 (3)住宅費20万1,900円 (4)労働費255万480円 (5)国民年金費161万5,000円 主要増減額 (1)季節保育所3ヶ所分増加所要額 39万7,250円 (2)失対事業増加所要額 △6万2,371円(総額231万8,250円) 賃金延3,000人(370円)111万円補助率2/3採石35坪 購入砂利45坪56万2,000円 補助率1/2 (3)公営住宅水道施設費△25万円 (4)国民年金印紙購入費△40万円</p>
<p>⑪選挙費 120万3,600円 前年度対比 73万4,360円</p>	<p>主要経費並増減額 (1)県会議員選挙費48万7,000円 (2)町会議員選挙費32万4,000円 (3)農業委員選挙費29万8,800円 (4)参議院議員選挙費△40万3,240円</p>		

⑤国庫負担金	1,533万1,988円	前年度対比 102万3,727円
⑥県支出金	1,000円	〃
⑦繰越金	450万円	〃 72万8,000円
⑧雑収入	5万3,807円	〃 2万5,945円
⑨寄附金	100円	〃
歳入合計	4,367万4,577円	前年度対比 184万4,239円

◆国保診療施設会計総額 633万2,491円

(114.7%) 前年度対比 81万1,533円

=歳出=

①診療施設費	586万7,011円	前年度対比 74万7,103円
②給食費	5万4,000円	〃
③諸支出金	39万1,480円	〃 6万4,480円
④予備費	2万円	〃

歳出合計 633万2,491円 前年度対比 81万1,533円

=歳入=

①診療収入	576万円	前年度対比 51万円
②一部負担金	1万2,000円	〃 △16万8,000円
③使用料及手数料	1万4,500円	〃 3万3,500円
④繰入金	50万円	〃 49万円
⑤雑収入	4万5,891円	〃 1万3,933円

歳入合計 633万2,491円 前年度対比 81万1,533円

◆簡易水道会計総額 277万940円

(18.1%) 前年度対比 △1,030万7,240円

=歳出=

①簡易水道施設費	142万5,840円	前年度対比 1,064万6,340円
②公債費	81万5,100円	〃 36万6,100円

⑫公債費	378万60円
前年度対比	25万7,662円

⑬諸支出金	2,965万8,280円
前年度対比	2,211万1,041円

主要経費 ①徴税费83万300円 ②繰出金(簡易水道会計)51万940円 ③地方振興費2,829万3,940円
 主要増減額 ①松代高校増築費地元負担金2,638万5,000円 ②固定資産評価臨時雇2名分27万7,300円 ③水道会計繰出金 △395万4,870円 ④巡查部長庁舎改築地元寄附金 △100万円

⑭予備費	30万円
前年度対比	15万円

歳出合計 1億2,089万4,000円 前年度対比 2,898万7,741円

◆国保事業特別会計総額 4,367万4,577円

(104.4%) 前年度対比 184万4,239円

=歳出=

①役場費	22万5,577円	前年度対比 32万5,717円
②保険給付費	3,818万5,407円	〃 60万7,389円
③保険施設費	163万4,820円	〃 51万8,540円
④公債費	1,000円	〃
⑤諸支出費	70万1,773円	〃 52万393円
⑥予備費	94万6,000円	〃 44万6,000円

歳出合計 4,367万4,577円 前年度対比 184万4,239円

=歳入=

①国民健康保険税	857万9,000円	前年度対比 △6万2,100円
②一部負担金	1,464万2,214円	〃 9万199円
③財産収入	56万4,468円	〃 3万7,468円
④使用料及手数料	2,000円	〃 1,000円

高校生急増対策

校舎新設の概要

③予備費	3万円	前年度対比	2万7,000円
歳出合計	227万940円	前年度対比	△1,030万7,240円
=歳入=			
①使用料及手数料	156万円	前年度対比	81万5,200円
②繰入金	51万940円	"	△413万7,510円
③繰越金	20万円	"	△85万2,730円
歳入合計	227万940円	前年度対比	△1,030万7,240円

- 一、建築予定位置
現在の正面玄関前、体育館と並行して建築
- 二、建物の規模
- 1、主体建物、鉄筋コンクリート造三階建一〇間×二〇間
一階、一九二、五〇坪
二階、二〇〇坪
三階、二〇〇坪
ペントハウス、一三、七五坪
延、六〇六、二五坪
- 2、渡廊下
体育館に接続（鉄筋コンクリート造）一六、五〇坪
在来校舎に接続（木造）三三坪
- 3、合計坪数
鉄筋コンクリート造 六二二、七五坪
木造 三三坪
- 三、予算概要
- ◎鉄筋コンクリート工事、六二二、七五坪（坪単価七五、〇〇〇円）四、六七〇万六〇〇〇円
- ◎附帯設備工事

- 一、六三四万七〇〇〇円
- ◎木造工事三三坪（坪単価三〇、〇〇〇円）九九万円
- ◎事務費 一九二万一、〇〇〇円
- 合計 六、五九六万四〇〇〇円
（県費負担三、九五七万九、〇〇〇円）（町負担四〇〇%、二六、三八万五、〇〇〇円）
- 四、地元負担金財源引当額
- 1、町税七三〇万円
- (一)固定資産税増徴分二八〇万円
- (二)市町村民税、煙草消費税等自然増四五〇万円
- 2、財政調整積立金一、四〇〇万円
- (一)昭和三六年度積立金二〇〇万円
- (二)昭和三七年度積立金一、二〇〇万円
- 3、その他一般財源五〇八万五、〇〇〇円（地方交付税その他一般財源）
- 合計 二、六三八万五、〇〇〇円



燈



台

活躍する畜産研究グループ

和牛の生産を計り農業収入を増そうと熱心に研究しているグループがありますので御紹介いたします。

この会は蓬平和牛生産育成研究会（会長 若井利作）氏で三十六年三月国有貸付牛を借受けた二十名で組織され、優良和牛の育成生産をなし地域和牛の資質の向上を図ると共に農業経営の向上に資するを目的として結成されたのです。この貸付牛は国が寒冷地等自然条件に恵まれず経済的に遅れた地域に家畜の飼料の大部分を自然す

る合理的な畜営農の普及を図るために仔牛一頭を五ケ年間貸付け生産された雌牛一頭を返納する事により無償譲渡するもので二十頭一組で一部落に飼育される事か条件になっており蓬平部落が適格とされ三十五年度貸付牛として貸付けられたのです。

当時蓬平部落は農家戸数七十九戸、和牛飼育戸数四十九戸、和牛頭数四十九頭、普及率六十三%、一戸当り頭数〇・六頭でありました。又畜産以外稲作、養蚕、野菜等、町内でも屈指の生産を挙げておりましたが畜産を取入れた農家経営をすべく若井利作氏を中心に熱心に部落内の説得と関係機関への働きかけにより決定され春早く、鳥取県より導入されたものです。以来このグループは地味地な努力と実行力により育成に励み、その成果として現在和牛飼育戸数五十八戸、和牛頭数六十九頭、普及率七十四%、一戸当り頭数〇・九頭となり貸付牛の内一二頭が妊娠

しており三月末には第一号が分娩予定であります。又昨秋登録検査に五頭受検し全頭七十六点以上に合格し中でも小堺弘氏の「しずえ号」は三十七年度町和牛共進会で一等に入賞し、登録点数七十七点三八と町内和牛の最高点を獲得し和牛番付の東横綱に位しております。

これら成果をなした蔭には会員相互による研究心が旺盛で指導機関との協調により、畜舎の改善、飼料作物の栽培、飼料計画の樹立、削蹄、無血去勢の実施、講演会、座談会の開催、共進会、共励会等への出品参加、及び見学等々、又家畜衛生検査、健康検査等々の協力等誠に生筆に代えない努力と団結力の賜であると思えます。来年中に全頭国への返納を終り愈々自らの牛として農業経営の向上に寄与するものと信じておると共にその日が一日も早くくる事を念じております。

（小林）



さわらび新年歌会詠草

(旭堂旅館で)

高橋芳平
猛り狂ふ吹雪に身をば抗しつゝ荷
負ふ老爺の足のたしかさ

本山祖道

しるじろと川面に霧はたちこめて
今朝の瀬鳴は真近に聞こゆ

齊藤文雄

雪けぶり立てつゝ降りぬ朝まだき
橋のこずえを空にほかして
雪山に吸はるゝ如く日は没ちては
や片山に月のぼりたつ

本山祖道

夜の伽をあいまいに語れば寝ねし
子が顔をもたげて訂正するも

山本仲子

トラピスト修道院のバターなど弱
き母へと夫買ひ求む
贈られし夫婦茶わんにお茶つぎて
夫と語り雪降る夜は

山岸千鶴子

庭に立つわれに樹林のせまるごと
現われて消ゆ夜のいなずま

遠藤アイ子

皿の上に盛りつけし密柑の皿には
色美しと思うそのオレンジの肌

馬場恵子

枯枝を飾る如くに雪の垂れ時々落
つる風なしにして

本山祖道
しばらくは続く日和か夕茜まとも
にうけて雪蹴り帰る

遠藤アイ子

雪ダルマにつけしコスキを忘れし
と吾子は箸置き夜の外へ行く

高橋芳平

山鳴りは真北にありて雪深き魚沼
峠に月のぼりそむ

山岸千鶴子

老い父の背あたゝむと内職間を肩
毛糸つなぎ胴着編む母

齊藤文雄

どよめきの中に行司が名乗りあぐ
〆豊山〆とぞそのひびきよし

柳喜佐子

小包を出せば少し富みし心となり
明るき路選びて帰る

山本仲子

受験する子の身仕度に買い歩きつ
かれたと言ひ笑う母かも

本山祖道

浜海川川幅せまく流れいて早瀬に
雪はきりこみ止まず

佐藤雅義

ねころんで足を日なたに投げ出し
て秋の日に読む「静かなるドン」

※ ※

歌誌さわらび第三号(春季号)

は四月中旬発行する予定

—青年の主張—

選挙権を得て

私は去年成人式を終った者です
法律的に私は、一個の独立した人
間として、ひとり歩きのできる社
会人として、周囲の人々から認め
られ、選挙権を与えられました。
去年は参議員の選挙が行なわれ、
初めての投票は我が人生における
新しい一つの契機として印象深い
ものでありました。その時の一票
が果して国政を左右する様なもの
であったか、又一般的に見て正し
い票であったか否か、自信も確信
も正当な社会人としての判断力も
なかったと思います。

今年が県議、町議選と地方選挙
が雪消えと共に始まりますが、身
近な問題として、社会の新生で
ある我々も大いに考えるものでは
そのうちで最も身近な町議選は、
この町では部落推薦による候補者
がほとんどで、しかも小さい部落
では二つか三つ合同で一人の候補
者を立て、その立候補は部落順
番制のようです。
私はこうするとその部落に町会議
員として適当な人がいなくても、
又小さい部落でいかに優秀な人が
いて立候補しても当選できない場
合もあると思います。そのように
して当選した議員は、自分の部落
を主とした行政を行い町全体の合
理的な政治ができないのではない
でしょうか。部落のために当選し
たからという一種の義理的な意識
は当然起ります。これではいつま

でも町の発展のためになる様な行
政はできない。古い封建的な考え
方はまだ、この町には深く残っ
ており、これが町議選に多少影響
しているのだと思ひ選挙の方法を
民主的にすることによって、ある
いわ町の封建的な考え方や古い生
活意識は影を薄くすると思ひます
町議選もこの部落推薦制をもっと
考え改め、立候補者全員の考え方
や、どういふ人かということが判
断できる様な方法をとって、本当
に適任者を自由に選ぶ事の出来る
選挙をしてもらいたいと思ひます
私のようなまだ、未熟な者の考
えは社会人としての経験豊かな人
にすれば、一笑事であると思ひま
すが、新しく選挙権を得た一青年
として感想をのべました。